

ごみ分別徹底・減量のお願い

ごみ焼却施設「クリーンおしま」で発生した火災の影響により、現在も施設の稼働が停止しています。そのため、町民の皆さま一人ひとりのご協力が欠かせない状況です。現在のごみ処理の状況と、ごみ減量につながる取り組みについてお知らせします。

1. クリーンおしまの施設概要



運営	渡島廃棄物処理広域連合
所在地	北斗市館野 105 番地
対象地域	渡島管内の1市9町（北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町八雲地域、長万部町）
処理内容	燃やせるごみ

渡島管内の中継施設（リレーポート）

渡島管内では、ごみを効率的に運搬するため、中継施設（リレーポート）を設置しています。

八雲町八雲地域・長万部町 → リレーポート山越

【焼却施設までのごみ搬入の流れ】

各地域で収集 → 中継施設（リレーポート） → ごみ処理施設（クリーンおしま）

2. 現在の状況

八雲町八雲地域の「燃やせるごみ」は、渡島管内1市9町で構成する渡島廃棄物処理広域連合により、北斗市のごみ焼却施設「クリーンおしま」で処理されています。

しかし、2026年4月29日、「クリーンおしま」のごみピット内で爆発を伴う火災が発生し、焼却設備が損傷し、復旧には2年以上かかる見通しです。

現在のごみ処理につきましては、5月中旬から後志管内や苫小牧市などの代替焼却施設で処理を進めていますが、受入数量に限りがあることから、八雲地域で発生するごみ全量を処理できない状況です。

そのため、一部の燃やせるごみは町有地の仮置場で堆積保管しています。

7月22日時点で、仮置場で保管している燃やせるごみは370トンに達しています。



写真は、町有地仮置場での堆積状況です。ブルーシートによる飛散防止および電気柵による獣害対策を講じています。

渡島廃棄物処理広域連合では、引き続き札幌市などの代替焼却施設への搬出・処理を進めるとともに、早期解消に取り組んでいます。町としても、衛生環境を守りながら通常のごみ収集体制を維持できるよう、引き続き対応してまいります。

3. 現状の排出量と処理費用について

八雲町（八雲地域）では、年間約3,300トンの燃やせるごみが排出され、その焼却には年間約**1億7,000万円**（前年度実績）の費用がかかっています。

町民一人ひとりが**1日100グラム**ずつ燃やせるごみを減らすことができれば、年間約**460トン**のごみ減量につながります。